

# 社会教育施設建設基本構想まとまる



## 各方面の協力を得て

村の総合福祉センター（公民館）は、昭和四十四年に建設以来、既に四十三年が経過し、老朽化も進み、耐震性にも問題が出てきております。吉川前村長の時代にも、委員会を組織し、建て替えを検討した経緯があります。そこで、村では満を持し、昨年九月に、社会教育施設建設の名のもと、役場内検討委員会を立ち上げ、建設に向けての次のような基本方針を確認しました。

### 【基本方針】

- ① これまでの委員会からいただいている答申を尊重する。
- ② 村民が気軽に集まれる『憩いの場』となるよう旧役場跡地へ建設する。
- ③ 教育委員会は新施設内に置く。
- ④ 図書館は新施設に併設する。
- ⑤ 資料館は、当分現在のまま利用する。
- ⑥ 新施設は、現福祉センターを利用しながら建設し、建設が終わった時点での現福祉センターの取り壊しをする。
- ⑦ ホールのフロアは固定席とせず、全面フランクでステージを設け、多目的に使用できるようにする。

さらに、村内在住の一級建築士五名の方々の協力を得て、建設の素案の「基本構想図案」も作成しました。また、社会教育施設建設に関する具体的な検討を行うために、本年三月に、村のそれぞれの団体の代表者からなる社会教育施設建設委員会を組織しました。委員会における四回の検討会議結果をまとめ、村では、社会教育施設建設基本構想として、この度、その概要を村民の方々に提示するに至ったわけです。建設委員会で検討された詳細につきましては、紙面の余裕がないため館報には掲載できませんが、村の広報の特集版に載っておりますので、ぜひともご覧ください。ご意見等も担当部署（豊丘村教育委員会）にお寄せください。

なお、この社会教育施設は、本年度中に本設計を終了し、来年度に着工及び完成の予定になつております。

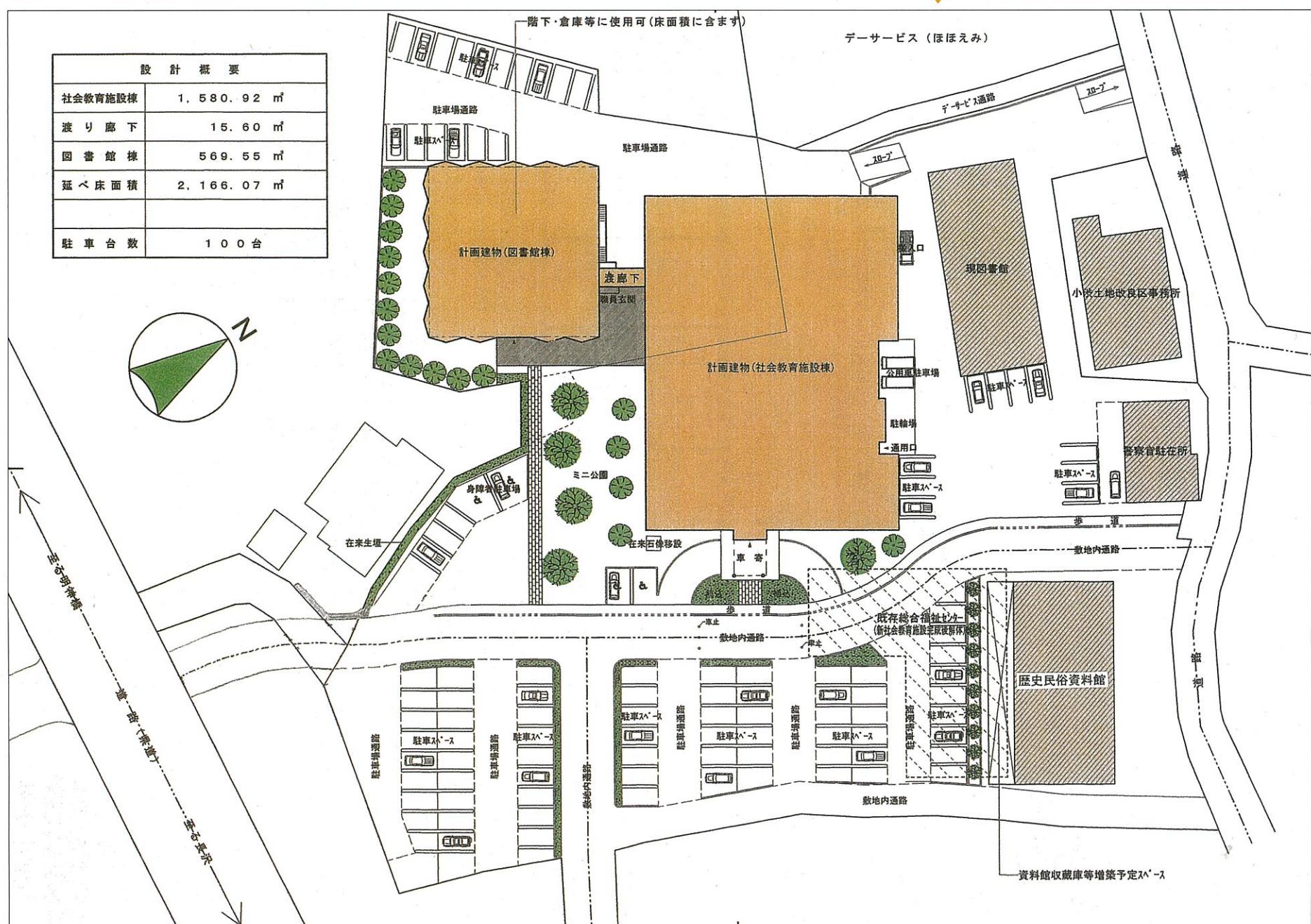
（二面にも関連記事）

第617号  
発行人・豊丘村公民館 唐澤克己  
編集人・長野県下伊那郡豊丘村公民館  
編集委員会 0265-35-9066  
印刷所・龍共印刷株式会社

私たちの村  
(7月1日現在)  
男女 3,402人  
総人口 3,514人  
世帯数 6,916戸  
2,021戸

## 平屋建てで図書館を併設する

### 社会教育施設設計图案 配 置 図



農水省で発表している先行事例を見ても数年の試行錯誤がみてとれる。豊丘村として売れるもの、豊丘村が売りたいもの、なにをすれば村が活性化するのか、村民が何を求めているのか、行政の思惑や押し付けではない、どうすれば「豊丘を売る商品」の開発ができるのかを、見極め、よりよい結果につながることに期待して見守りたい。

しかし、消費者ニーズや販路の確保などの下調べもないまま、数カ月で成功するなどは、どうい考えられるものではない。豊丘村でも6次産業化事業プロジェクトが発動されるようだが、村おこしとなる大規模な取り組みに村民から多くの期待の目が向けられるだろう。またそうあって欲しい。

豊丘村でも6次産業化事業プロジェクトが発動されるようだが、村おこしとなる大規模な取り組みに村民から多くの期待の目が向けられるだろう。またそうあって欲しい。

たとえば生産、加工、販売、体験、民泊などを組み合わせた農産物の加工と直売、地場産品を使った農家レストラン、農産物のブランド化など。

農山村の地域資源に附加值を図ることで、雇用確保や儲かる農林業の実現を目指すことのようだ。たとえば生産、加工、販売、体験、民泊などを組み合わせた農産物の加工と直売、地場産品を使った農家レストラン、農産物のブランド化など。

6次産業…この言葉を聞いて、ピンとくる人はどのくらいいるのでしょうか。

第1次産業（農林業生産

第2次産業（加工）第3次産業（流通・販売）を足して6になることをもじつた造語である。

農山村の地域資源に附加值を図ることで、雇用確保や儲かる農林業の実現を目指すことのようだ。

段丘





